

(図上部の句)

(右より)

むら雨に

打ちら

されて

けしの花

小雲

おのれから

世に捨

られて

うかれ猫

菊雄

心には

にじぎ

纏

て帛紙衣

諸鳥も

縮みぬ

鷹の

一白眼

珍齋其鸞

あちからも

人をや

またむ

山さくら

花朝女

一疋と空にも

名のれ

ほととぎす

春路